



APPENDIX

C

Catalyst 2960 および 2960-S スイッチ show platform コマンド

この付録では、Catalyst 2960 および 2960-S スイッチで使用するために作成または変更された **show platform** 特権 EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立つ情報を示します。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート担当者の指示に従ってください。

show platform acl

プラットフォームに依存する Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) マネージャ情報を表示するには、**show platform acl** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform acl {interface interface-id | label label-number [detail] | statistics
asic-number | usage asic-number [summary] | vlan vlan-id} [ | {begin | exclude |
include} expression]
```

シンタックスの説明

interface <i>interface-id</i>	指定されたインターフェイスについてインターフェイス単位の ACL マネージャ情報を表示します。このインターフェイスは物理インターフェイスまたは Virtual LAN (VLAN; 仮想 LAN) になることができます。
label <i>label-number</i> [detail]	ラベル単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>label-number</i> の範囲は 0 ~ 255 です。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> detail : (任意) 詳細 ACL マネージャ ラベル情報を表示します。
statistics <i>asic-number</i>	ASIC (特定用途向け集積回路) 単位の ACL マネージャ情報を表示します。 <i>asic-number</i> は、ポート ASIC 番号で、0 または 1 です。
usage <i>asic-number</i> [summary]	ASIC 単位の ACL 使用状況情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> summary : (任意) 使用状況情報の概要を表示します。
vlan <i>vlan-id</i>	VLAN 単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>vlan-id</i> の範囲は 1 ~ 4094 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform backup interface

Flex Link 設定で使用されるプラットフォーム依存型バックアップ情報を表示するには、**show platform backup interface** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform backup interface [interface-id | dummyQ] [| {begin | exclude | include}
expression]
```

シンタックスの説明

<i>interface-id</i>	(任意) すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対するバックアップ情報を表示します。インターフェイスは、物理インターフェイスでもポート チャネルでもかまいません。
dummyQ	(任意) ダミー キュー情報を表示します。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform etherchannel

プラットフォームに依存する EtherChannel 情報を表示するには、**show platform etherchannel** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform etherchannel {flags | time-stamps} [ | {begin | exclude | include}
expression]
```

シンタックスの説明

flags	EtherChannel ポート フラグを表示します。
time-stamps	EtherChannel タイム スタンプを表示します。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform forward

指定されたパラメータと一致したフレームがハードウェアで転送される方法を指定するには、インターフェイスに対して **show platform forward** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform forward interface-id [vlan vlan-id] src-mac dst-mac [l3protocol-id] [ipv6 | sap | snap] [cos cos] [ip src-ip dst-ip] [frag field] [dscp dscp] {l4protocol-id | icmp icmp-type icmp-code | igmp igmp-version igmp-type | sctp src-port dst-port | tcp src-port dst-port flags | udp src-port dst-port}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

<i>interface-id</i>	パケットがスイッチに着信するポートとなる入力物理インターフェイス。
vlan <i>vlan-id</i>	(任意) 入力 VLAN ID。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。このパラメータに値を指定せず、入力インターフェイスがルーテッドポートでない場合は、デフォルト値が 1 になります。
<i>src-mac</i>	48 ビット送信元 MAC (メディア アクセス制御) アドレス。
<i>dst-mac</i>	48 ビット宛先 MAC アドレス。
<i>l3protocol-id</i>	(任意) パケットで使用されるレイヤ 3 プロトコル。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
ipv6	(任意) IPv6 フレーム。
sap	(任意) Service Access Point (SAP; サービス アクセスポイント) カプセル化タイプ。
snap	(任意) Subnetwork Access Protocol (SNAP; サブネットワーク アクセス プロトコル) カプセル化タイプ
cos <i>cos</i>	(任意) フレームの Class of Service (CoS; サービス クラス) 値。指定できる範囲は 0 ~ 7 です。
ip <i>src-ip</i> <i>dst-ip</i>	(任意、ただし IP パケットには必要) ドット付き 10 進表記の送信元および宛先 IP アドレス。
frag <i>field</i>	(任意) フラグメント IP パケットの IP フラグメント フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
dscp <i>dscp</i>	(任意) IP ヘッダーの Differentiated Service Code Point (DSCP) フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
<i>l4protocol-id</i>	IP ヘッダーのレイヤ 4 プロトコル フィールドの数値。指定できる範囲は 0 ~ 255 です。たとえば、47 は Generic Routing Encapsulation (GRE; 総称ルーティング カプセル化) であり、89 は OSPF (Open Shortest Path First) です。プロトコルが TCP、User Datagram Protocol (UDP)、Internet Control Message Protocol (ICMP; インターネット制御メッセージ プロトコル)、または Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) である場合、数値の代わりに適切なキーワードを使用する必要があります。
icmp <i>icmp-type</i> <i>icmp-code</i>	ICMP パラメータ。指定できる <i>icmp-type</i> および <i>icmp-code</i> の範囲は 0 ~ 255 です。
igmp <i>igmp-version</i> <i>igmp-type</i>	IGMP パラメータ。指定できる <i>igmp-version</i> の範囲は 1 ~ 15 であり、指定できる <i>igmp-type</i> の範囲は 0 ~ 15 です。
sctp <i>src-port</i> <i>dst-port</i>	Stream Control Transmission Protocol (SCTP) パラメータ。SCTP 送信元および宛先ポートに指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。

■ show platform forward

tcp <i>src-port dst-port flags</i>	TCP パラメータ：TCP 送信元ポート、宛先ポート、およびヘッダー内の TCP フラグ バイトの数値。指定できる <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の範囲は 0 ~ 65535 です。指定できるフラグの範囲は 0 ~ 1024 です。
udp <i>src-port dst-port</i>	UDP パラメータ。指定できる <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の範囲は 0 ~ 65535 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

例

show platform forward コマンドの出力表示およびその意味の例については、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドの「Troubleshooting」の章を参照してください。

show platform frontend-controller

フロントエンドコントローラ マネージャとその従属アプリケーションのカウンタおよびステータス情報、およびフロントエンドコントローラのハードウェアおよびソフトウェア情報を表示するには、**show platform frontend-controller** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform frontend-controller {buffer | generic | manager number | subordinate
number | version number} [ | {begin | exclude | include} expression]
```



(注)

シンタックスの説明

buffer	マネージャから従属アプリケーションに送信された最後の 1024 バイトを表示します。または、従属アプリケーションからマネージャに送信された最後の 1024 バイトを表示します。
generic	マネージャまたは従属アプリケーションに明確に適用されない一般的なカウンタを表示します。
manager number	<i>number</i> によって指定されたマネージャおよび従属アプリケーションのカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
subordinate number	<i>number</i> によって指定された従属アプリケーションの従属ステータスおよびカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
version number	<i>number</i> によって指定された従属ステータスのハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
expression	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(46)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

指定できる下位番号の範囲は 0 ~ 2 です。

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform ip igmp snooping

プラットフォーム依存型インターネットグループ管理プロトコル (IGMP) スヌーピング情報を表示するには、**show platform ip igmp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip igmp snooping {all | control [di] | counters | flood [vlan vlan-id] | group
ip-address | hardware | retry [count | local [count] | remote [count]]} [| {begin |
exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

all	すべての IGMP スヌーピング プラットフォーム IP マルチキャスト情報を表示します。
control [di]	IGMP スヌーピング コントロール エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> di : (任意) IGMP スヌーピング コントロール宛先索引エントリを表示します。
counters	IGMP スヌーピング カウンタを表示します。
flood [vlan vlan-id]	IGMP スヌーピング フラッディング情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> vlan vlan-id : (任意) 指定された VLAN のフラッディング情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
group ip-address	IGMP スヌーピング マルチキャスト グループ情報を表示します。ここで、 <i>ip-address</i> はグループの IP アドレスです。
hardware	ハードウェアにロードされた IGMP スヌーピング情報を表示します。
retry [count local [count]]	IGMP スヌーピング再試行情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> count : (任意) 再試行回数だけを表示します。 local : (任意) ローカル再試行エントリを表示します。
remote [count]	リモート エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> count : (任意) リモート カウントだけを表示します。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
expression	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform layer4op

プラットフォームに依存するレイヤ 4 演算子情報を表示するには、**show platform layer4op** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform layer4op {acl | pacl [port-asic] | qos [port-asic]} {and-or | map | or-and | vcu} [|{begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

acl	アクセス コントロール リスト (ACL) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。
pacl [port-asic]	ポート ACL レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>port-asic</i> : (任意) ポート ASIC (特定用途向け集積回路) 番号を表示します。
qos [port-asic]	QoS (Quality of Service) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>port-asic</i> : (任意) QoS ポート ASIC 番号を表示します。
and-or	AND-OR レジスタ情報を表示します。
map	選択マップ情報を表示します。
or-and	OR-AND レジスタ情報を表示します。
vcu	Value Compare Unit (VCU) レジスタ情報を表示します。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート 担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート 担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform mac-address-table

プラットフォーム依存型 MAC（メディア アクセス制御）アドレス テーブル情報を表示するには、**show platform mac-address-table** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mac-address-table [aging-array | hash-table | mac-address mac-address]
[vlan vlan-id]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

aging-array	(任意) MAC アドレス テーブル エージング アレイを表示します。
hash-table	(任意) MAC アドレス テーブル ハッシュ テーブルを表示します。
mac-address mac-address	(任意) MAC アドレス テーブル MAC アドレス情報を表示します。ここで、 <i>mac-address</i> は 48 ビット ハードウェア アドレスです。
vlan vlan-id	(任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
expression	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform messaging

プラットフォームに依存するアプリケーションおよびパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、**show platform messaging** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform messaging {application [incoming | outgoing | summary] | hipperf
[class-number]} [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

application [incoming outgoing summary]	アプリケーション メッセージ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • incoming : (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。 • outgoing : (任意) 発信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。 • summary : (任意) アプリケーション メッセージング要求すべてに関するサマリー情報を表示します。
hipperf [class-number]	発信するハイパフォーマンス メッセージ情報を表示します。特定のクラス番号のハイパフォーマンス メッセージについての情報を表示するには、 <i>class-number</i> オプションを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 36 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform monitor

プラットフォームに依存する Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ) 情報を表示するには、**show platform monitor** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform monitor [session session-number] [| {begin | exclude | include}
expression]
```

シンタックスの説明	説明
session <i>session-number</i>	(任意) 指定された SPAN セッションの SPAN 情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform mvr table

プラットフォーム依存型 Multicast VLAN Registration (MVR) Multi-Expansion Descriptor (MED) グループ マッピング テーブルを表示するには、**show platform mvr table** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mvr table [ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform pm

プラットフォームに依存するポート マネージャ情報を表示するには、**show platform pm** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform pm {counters | group-masks | idbs {active-idbs | deleted-idbs} |
if-numbers | link-status | platform-block | port-info interface-id | stack-view | vlan
{info | line-state}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

counters	モジュール カウンタ情報を表示します。
group-masks	EtherChannel グループ マスク情報を表示します。
idbs {active-idbs deleted-idbs}	Interface Data Block (IDB) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • active-idbs : アクティブ IDB 情報を表示します。 • deleted-idbs : 削除または漏洩された IDB 情報を表示します。
if-numbers	インターフェイス番号情報を表示します。
link-status	ローカル ポート リンク ステータス情報を表示します。
platform-block	プラットフォーム ポート ブロック情報を表示します。
port-info interface-id	指定されたインターフェイスのポート管理および動作フィールドを表示します。
stack-view	スタックのステータス情報を表示します。このキーワードは、LAN Base イメージを実行している Catalyst 2960-S スイッチのみでサポートされています。
vlan {info line-state}	プラットフォーム VLAN 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • info : アクティブ VLAN の情報を表示します。 • line-state : ラインステート情報を表示します。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
expression	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform port-asic

プラットフォーム依存型ポート ASIC（特定用途向け集積回路）レジスタ情報を表示するには、**show platform port-asic** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-asic {cpu-queue-map-table [asic number | port number [asic
number]] |
dest-map index number |
etherchannel-info [asic number | port number [asic number]] |
exception [asic number | port number [asic number]] |
global-status [asic number | port number [asic number]] |
learning [asic number | port number [asic number]] |
mac-info [asic number | port number [asic number]] |
mvid [asic number] |
packet-info-ram [asic number | index number [asic number]] |
port-info [asic number | port number [asic number]] |
prog-parser [asic number | port number [asic number]] |
receive {buffer-queue | port-fifo | supervisor-sram} [asic number | port number [asic
number]] |
span [vlan-id [asic number] | [asic number]
stack {control | dest-map | learning | messages | mvid | prog-parser | span | stats [asic number
| port number [asic number]}
stats {drop | enqueue | miscellaneous | supervisor} [asic number | port number [asic
number]] |
transmit {port-fifo | queue | supervisor-sram} [asic number | port number [asic
number]]
vct [asic number | port number [asic number]]
version}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

cpu-queue-map-table [asic number port number [asic number]]	CPU キュー マップ テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。
dest-map index number	指定された索引の宛先マップ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
etherchannel-info [asic number port number [asic number]]	EtherChannel 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。

exception [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>例外索引レジスタ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここではスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。
global-status [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>グローバルおよび中断ステータスを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここではスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。
learning [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>学習キャッシュ内のエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここではスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。
mac-info [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>MAC (メディア アクセス制御) 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここではスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。
mvid [<i>asic number</i>]	<p>マッピングされた VLAN ID テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
packet-info-ram [<i>asic number</i> <i>index number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>パケット情報 RAM を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • index number : (任意) 指定されたパケット RAM 索引番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
port-info [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>ポート情報レジスタ値を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここではスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。

prog-parser [asic number port number [asic number]]	プログラマブル パーサ テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。
receive { buffer-queue port-fifo supervisor-sram } [asic number port number [asic number]]	受信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> • buffer-queue : バッファ キュー情報を表示します。 • port-fifo : ポート First-In, First-Out (FIFO; ファーストインファーストアウト) 情報を表示します。 • supervisor-sram : スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。
span [vlan-id asic number]	スイッチド ポート アナライザ (SPAN) 関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> • vlan-id : (任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1023 です。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
stack { control dest-map learning messages mvid prog-parser span stats [asic number port number [asic number]]}	スタック関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。
	<ul style="list-style-type: none"> • control : スタック制御ステータス レジスタ情報を表示します。 • dest-map : 宛先マップ情報を表示します。 • learning : 学習キャッシュ内のエントリを表示します。 • messages : スタックメッセージ レジスタ情報を表示します。 • mvid : マッピングされた VLAN ID テーブルのエントリを表示します。 • prog-parser : プログラマブル パーサ テーブルを表示します。 • span : SPAN 関連情報を表示します。 • stats : ポート ASIC の未処理の統計を表示します。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。
	(注) これらのキーワードは、LAN Base イメージを実行している Catalyst 2960-S スイッチだけでサポートされています。

stats { drop enqueue miscellaneous supervisor } [asic number port number [asic number]]	<p>ポート ASIC の未処理の統計を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drop : 廃棄統計情報を表示します。 • enqueue : エンキュー統計情報を表示します。 • miscellaneous : 各種情報を表示します。 • supervisor : スーパーバイザ統計情報を表示します。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。
transmit { port-fifo queue supervisor-sram } [asic number port number [asic number]]	<p>送信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • port-fifo : ポート FIFO 情報レジスタの内容を表示します。 • queue : キュー情報レジスタの内容を表示します。 • supervisor-sram : スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。
vct [asic number port number [asic number]]	<p>指定された ASIC または指定されたポートおよび ASIC の VLAN 圧縮テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。
version	ポート ASIC のバージョンおよびデバイス タイプ情報を表示します。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform port-security

プラットフォームに依存するポート セキュリティ情報を表示するには、**show platform port-security** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-security [ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform qos

プラットフォーム依存型 QoS (Quality of Service) 情報を表示するには、**show platform qos** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform qos {label asic number | policer {parameters asic number |
port alloc number asic number}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

label asic number	指定された ASIC (特定用途向け集積回路) の QoS ラベルマップを表示します。 (任意) asic number に指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
policer {parameters asic number port alloc number asic number}	ポリサー情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • parameters asic number : 指定された ASIC のパラメータ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port alloc number asic number : 指定されたポートおよび ASIC のポート割り当て情報を表示します。指定できるポート割り当て範囲は 0 ~ 25 です。指定できる ASIC 範囲は 0 ~ 1 です。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform resource-manager

プラットフォームに依存するリソース マネージャ情報を表示するには、**show platform resource-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform resource-manager {dm [index number] | erd [index number] |
mad [index number] | med [index number] | mod | msm {hash-table [vlan vlan-id] |
mac-address mac-address [vlan vlan-id]} | sd [index number] |
vld [index number]} [ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

dm [index number]	宛先マップを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
erd [index number]	指定された索引の等価コスト ルート記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
mad [index number]	指定されたインデックスの MAC (メディア アクセス制御) アドレス記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
med [index number]	指定された索引のマルチエクステンション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
mod	リソースマネージャ モジュール情報を表示します。
msm {hash-table [vlan vlan-id] mac-address mac-address [vlan vlan-id]}	MAC アドレス記述子テーブルおよびステーション記述子テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> hash-table [vlan vlan-id] : すべての VLAN または指定された VLAN のハッシュ テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。 mac-address mac-address [vlan vlan-id] : すべての VLAN または指定された VLAN に対して 48 ビットのハードウェア アドレスで表された MAC アドレスの MAC アドレス記述子テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
sd [index number]	指定された索引のステーション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
vld [index number]	指定されたインデックスの VLAN リスト記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。

■ show platform resource-manager

include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform snmp counters

プラットフォームに依存する SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）カウンタ情報を表示するには、**show platform snmp counters** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform snmp counters [ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform spanning-tree

プラットフォーム依存型スパニングツリー情報を表示するには、**show platform spanning-tree** 特権 EXEC コマンドを使用します。

show platform spanning-tree synchronization [**detail** | **vlan** *vlan-id*] [| {**begin** | **exclude** | **include**} *expression*]

シンタックスの説明

synchronization [detail vlan <i>vlan-id</i>]	<p>スパニングツリー ステート同期情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • detail : (任意) スパニングツリー情報の詳細を表示します。 • vlan <i>vlan-id</i> : (任意) 指定された VLAN の VLAN スイッチ スパニングツリー情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include <i>expression</i>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform stp-instance

プラットフォーム依存型スパンニングツリー インスタンス情報を表示するには、**show platform stp-instance** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stp-instance vlan-id [ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

<i>vlan-id</i>	指定された VLAN のスパンニングツリー インスタンス情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform stack manager

プラットフォーム依存スイッチ スタック情報を表示するには、**show platform stack manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stack manager {all | counters | trace [sdp [reverse] | state [reverse]]}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```



(注)

このコマンドは、LAN Base イメージを実行している Catalyst 2960-S スイッチのみでサポートされています。

シンタックスの説明

all	スイッチ スタック全体の情報をすべて表示します。
counters	スタック マネージャ カウンタを表示します。
trace [sdp [reverse]]	追跡情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> sdp : (任意) Stack Discovery Protocol (SDP) 情報を表示します。 reverse : (任意) 追跡情報を逆順に (最新の情報から順にさかのぼって) 表示します。
trace [state [reverse]]	追跡情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> state : (任意) スタック ステート マシン情報を表示します。 reverse : (任意) 追跡情報を逆順に (最新の情報から順にさかのぼって) 表示します。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(53)SE1	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用します。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

スイッチ スタックの要約情報に次のステートが表示されます。

- **Waiting** : スイッチはブートアップし、スタック内にある他のスイッチからの通信を待機しています。スイッチはまだスタック マスターであるかどうかを判別していません。
スタック マスター選出に参加していないスタック メンバーは、スタック マスターが選出され準備ができるまで **Waiting** ステートのままです。
- **Initializing** : スイッチはスタック マスター ステータスであるかどうかの判別を完了しました。スイッチがスタック マスターでない場合、このスイッチはスタック マスターからシステムレベルおよびインターフェイスレベルのコンフィギュレーションを受信してロードしています。
- **Ready** : スタック メンバーはシステムレベルおよびインターフェイスレベルのコンフィギュレーションのロードを完了し、トラフィックを転送する準備ができています。
- **Master Re-Init** : マスター再選出で、今までと異なるメンバーがマスターに選出された直後のステート。新しいマスターがそのコンフィギュレーションを再初期化しています。このステートは、新しいマスターにだけ適用されます。
- **Ver Mismatch** : バージョン ミスマッチ モードのスイッチ。バージョンミスマッチ モードは、スタックに加入しているスイッチに、マスターとは異なったスタック プロトコル マイナー バージョン番号がある場合です。

スタック メンバー (スタック マスターを含む) の代表的なステート遷移は、**Waiting -> Initializing -> Ready** です。

マスター選出後のスタック マスターになるスタック メンバーの代表的なステート遷移は、**Ready -> Master Re-Init -> Ready** です。

バージョン ミスマッチ モードのスタック メンバーの代表的なステート遷移は、**Waiting -> Ver Mismatch** です。

show platform stack ports

プラットフォーム依存スイッチ スタック情報を表示するには、**show platform stack ports** 特権 EXEC コマンドを使用します。

show platform stack ports {buffer | history} [| {begin | exclude | include} *expression*]



(注)

このコマンドは、LAN Base イメージを実行している Catalyst 2960-S スイッチのみでサポートされています。

シンタックスの説明

buffer	スタック ポート リンク イベントと同期ステート イベントを表示します。
history	スタック ポート履歴を表示します。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(53)SE1	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用します。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、**Output** を含む行は表示されます。

```
Event type: LINK OK Stack Port 2
0000000012 1 FF08FF00 860302A5 AA55FFFF FFFFFFFF 1CE61CE6 Yes/Yes No cable
0000000012 2 FF08FF00 86031805 55AAFFFF FFFFFFFF 1CE61CE6 Yes/Yes No cable
Event type: RAC
0000000013 1 FF08FF00 860302A5 AA55FFFF FFFFFFFF 1CE61CE6 Yes/Yes No cable
0000000013 2 FF08FF00 86031805 55AAFFFF FFFFFFFF 1CE61CE6 Yes/Yes No cable
```

次に、**show platform stack ports history** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show platform stack ports history
Switch#/  Lost Sync  # times Link  # Changes
Port#     Events      Not OK       To LinkOK
-----
1/1        0           0             0
1/2        3           4             3
2/1        3           4             3
2/2        0           0             0
3/1        0           0             0
3/2        0           0             0
```

show platform tb

スタック マスターを新しいスタック マスターに変更している間に、プラットフォーム依存の信頼性のある境界情報を表示するには、**show platform tb** 特権 EXEC コマンドを使用します。

show platform tb [| {**begin** | **exclude** | **include**} *expression*]



(注) このコマンドは、LAN Base イメージを実行している Catalyst 2960-S スイッチのみでサポートされています。

シンタックスの説明

begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(53)SE1	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

例

次に **show platform tb** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show platform tb
Print TB sub-block information
(Fal/0/2) device: (Cisco phone)
/* current interfaces with TB enabled, and the trust device type */

Current master switch: (Yes)
/* Is this switch the current master switch? */

New elected master      : (No)
/* Is the master switch-over occurred and this is the new master switch? */

Master ready           : (No)
/* Is the Master switch in ready state? */

HULC TB process on    : (No)
/* Is the TB platform process currently running? */

CDP stable timer ON   : (No) (360 secs)
```

■ show platform tb

```
/* Is the CDP stable timer running?After the CDP stable timer expired, CDP neighbors of  
all the TB enabled interfaces will be verified to make sure the replacement of IP phone  
and PC did not happen during the master switch-over. */
```

```
Print TB residue trust ports information  
/* The interfaces with TB enabled right before master switch-over. */
```

```
Print port CDP neighbor information  
/* Is the CDP message still received after switch-over? */
```

```
HULC TB is not detecting CDP events  
/* Currently, this switch is not detecting any CDP event. */
```


show platform tcam

プラットフォーム依存型 Ternary CAM (TCAM) ドライバ情報を表示するには、**show platform tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform tcam {handle number | log-results | table {acl | all | local | mac-address | qos | station | vlan-list} | usage} [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table acl [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table all [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table local [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table mac-address [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table qos [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table station [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table vlan-list [ [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

handle <i>number</i>	TCAM ハンドルを表示します。指定できる範囲は 0 ～ 4294967295 です。
log-results	TCAM ログ結果を表示します。

table { acl all local mac-address qos station vlan-list }	ルックアップおよび転送テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • acl : アクセス コントロール リスト (ACL) テーブルを表示します。 • all : すべての TCAM テーブルを表示します。 • local : ローカル テーブルを表示します。 • mac-address : MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブルを表示します。 • qos : QoS テーブルを表示します。 • station : ステーション テーブルを表示します。 • vlan-list : VLAN リスト テーブルを表示します。
usage	CAM (連想メモリ) および転送テーブル使用状況を表示します。
[[asic number [detail [invalid]] [index number [detail [invalid]] invalid num number [detail [invalid]] [invalid]] [invalid]] [invalid]] [num number [detail [invalid]] invalid]]]	情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • asic number : 指定された ASIC デバイス ID の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 15 です。 • detail [invalid] : (任意) 有効または無効詳細を表示します。 • index number : (任意) 指定された TCAM テーブル索引の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。 • num number : (任意) 指定された TCAM テーブル番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。



(注)

ipv6、**equal-cost-route**、**multicast-expansion**、**secondary**、および **usage** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtring には表示されていますが、サポートされていません。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform vlan

プラットフォームに依存する VLAN 情報を表示するには、**show platform vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform vlan {misc | mvid | prune | refcount | rpc {receive | transmit}} [| {begin
| exclude | include} expression]
```

シンタックスの説明

misc	各種 VLAN モジュール情報を表示します。
mvid	Mapped VLAN ID (MVID) 割り当て情報を表示します。
prune	プラットフォームで維持されるブルーニング データベースを表示します。
refcount	VLAN ロック モジュールについてのリファレンス カウントを表示します。
rpc {receive transmit}	Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> receive : 受信した情報を表示します。 transmit : 送信した情報を表示します。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

■ show platform vlan